

2016年6月29日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

フィスコ AI 株価自動予測システムの第一弾をリリース ～FISCO ウェブ・FISCO アプリによる投資家の閲覧履歴を加味～

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」)は、現在サービス提供中の LaQoo+ (<http://www.laqoo.com/>)による株価自動予測システムを大幅に改良し、AI(人工知能)による株価自動予測システム「フィスコ AI」をリリースいたしました。

フィスコでは従来より LaQoo+による株価自動予測システムをてがけ、アルゴリズムトレードの研究を続けてきました。昨今におけるコンピュータの処理能力の向上にあわせ、AI の機能が増進し、最先端かつ異次元の仕組みをつくる環境が整ってきたと判断、2016年2月より子会社である株式会社 SJI(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:牛 雨、以下「SJI」)との連携によるフィスコ AI 株価自動予測システムの開発を推進してまいりました。

今回の改訂(ver.1)では、投資家の動向を加味した株価自動予測システムへとバージョンアップし、デザインも一新しています。フィスコでは全上場企業の業容およびコメントを無料で提供する「FISCO ウェブ(<http://web.fisco.jp/>)と FISCO アプリ(<http://app.fisco.jp/>)」を提供しており、日々膨大な投資家による閲覧履歴が積み上がっております。そのデータを活用することで、投資家の動向を反映するシステムを構築しています。

また、更なるバージョンアップを目指して 2017年1月のリリースをめどに開発中である「フィスコ AI」(ver.2以降)では、途中経過ではありますが、業績や出来高の判断を更に精緻化し、組み入れ銘柄の勝率で66.7%、騰落率で+10.84%を記録しております。また SNS や掲示板、アナリストレポート、政府および金融当局の発表文などテキストデータの解析にも注力していく方針です。

なお、フィスコは 1995年の創立以来、一貫して中立・公正をモットーとし、株式、為替のほか、商品、先物、オプションといった金融商品全般にわたって、投資家に資する経済情報・企業情報を配信して参りました。その知見を生かし、従来から LaQoo+による個別株価の自動予測システムを提供してまいりました。

現在、マーケットの変化に即応する自動学習型の株価自動予測モデル構築を目指し、新時代に相応しいフィスコ AI 株価自動予測システムを開発しています。この開発にあたっては、金融機関でのシステム構築ノウハウが豊富であり、フィンテック分野を今後の戦略的注力領域として位置づけているシステム会社の SJI も参画しております。

従来、株価の調査や株価自動予測システムはアナリストによる地道な作業、単一アルゴリズムによる柔軟性の乏しいシステムが主なものでした。この問題を打開すべく、アナリストの分析の質・量を飛躍的に向上させ、柔軟性の高いアルゴリズムに重点を置いて開発を進めてまいります。また、AI が成長することでアナリストも成長し、それがまた AI の成長を促すような共存共益、かつ相互の成長スパイラルの仕組みの

構築も目指します。フィスコのマーケットに対する着眼点、SJIの40年に渡る金融機関のシステム構築経験と数多くのノウハウをベースとした実証実験・システム開発により、日々変化の激しいマーケットに即応可能な自動学習型の株価自動予測システムを構築して参ります。

【株式会社フィスコの概要】

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目4番30号
設立日： 1995年5月15日
資本金： 1,210百万円(2015年12月31日現在)
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

【株式会社 SJI の概要】

会社名： 株式会社 SJI <http://www.sji-inc.jp/>
所在地： 東京都目黒区大橋一丁目5番1号
設立日： 1998年07月14日
資本金： 6,348百万円(2015年10月31日現在)
代表者： 代表取締役社長 牛 雨
事業内容： 情報サービス事業

以上